

北の物販大富豪 謁見音声 書き起こし資料

2014年9月11日 謁見収録 No.03



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『うつ病セルフヘルプトレーニングeスクール』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



真田孔明：

●●さん（北の物販大富豪）の腎臓のエネルギーは半端ないですよ

北の物販大富豪：

あっそう？

真田孔明：

元々が半端ないですね、もともとが

北の物販大富豪：

あの、四柱推命ってさ、あれって占いの？

真田孔明：

占いですね

北の物販大富豪：

ああ 俺はずっと、ツボかなんかかと思ってた

真田孔明：

笑 4カ所かなんか！

北の物販大富豪：

なんか、北斗の拳が7カ所を打ったら・・・

真田孔明：

4みたいな

北の物販大富豪：

そうそうそう

真田孔明：

僕もあんなの最初興味無かったんですけど、やっぱり、調べれば調べるほど、生まれたときに人間の属性が決まってることがわかって、男女と同じように

北の物販大富豪：

ほ～

真田孔明：

生年月日で、なんでそうなるのかあれですけど



北の物販大富豪：

ほ～

真田孔明：

例えば、あの男女比とかも、みんな生み分けとかしてるはずなのに、必ず、100:105になるんですよね、ず～っと

北の物販大富豪：

ほ～

真田孔明：

もう毎年 100:105！ああ言うのと同じように、属性分かれちゃうんですよ人間も・・・大きく分けると10通りぐらいに

北の物販大富豪：

ん～

真田孔明：

みんなやっぱり、その通りの生き方してて・・・特にサラリーマンじゃなくて外の人ですよね、サラリーマンの人は、どっちかっていうとロボットになっちゃってて、丸まっちゃうんであれですけど、外で活躍している人は何かね、やっぱり、その特性がみんな出てますね、やっぱ

北の物販大富豪：

ああ ほんと

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺なんか、21から外で生きてるから、そういう風になるんだね

真田孔明：

やっぱり、全部、感覚でやられますか？全部、アイディアが全部・・・降ってくる感じですよ？ぼ～んと

北の物販大富豪：

勉強してないもん 感覚しかねえ

真田孔明：

そうですね、勉強すると逆にその能力落ちちゃうんですよ



北の物販大富豪：

あ～

真田孔明：

元々そこで生まれてらっしゃってるんで、それを生かされてますね

北の物販大富豪（妻）：

勉強なしよね

北の物販大富豪：

なし

真田孔明：

たとえば、これ売れると思ったのをやると売れるみたいな感じですよ、まさに今日おっしゃってましたけど

北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

もう、それが「ショクジンカク」ってやつで・・

北の物販大富豪：

ほ～う たしかに考えることよりも、なんか・・ひらめき？

真田孔明：

ひらめきですね。ポ～ンと これ売れる！みたいな！

北の物販大富豪：

うん ここだけできくと、だから反射神経ってわかるやろ？

真田孔明：

ですね

北の物販大富豪：

パッと来たら頭下げるという感覚をもって、そうさ・・全部そうやな



真田孔明：

たとえば、後輩とか育てる時も、これを持ってない人に「お前、なんで感覚わかんないんだ？」って言ってもね、永遠にわかんない 笑

北の物販大富豪：

絶対そうや、今までやってきてね、自分と一緒に感覚ってのはないんや ねえ

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

向こうが2人大学出て、英語もそこそこわかっているやろ、なんかこう話しててね、こんな簡単な事もわからんでどうしてこんな事がねえ

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

って思う事が沢山ある、なんか日本の常識がわからんのに、なんか物を言ってるような感じだから

北の物販大富豪：

このスープ、体熱うなる

北の物販大富豪（妻）：

熱くなる

北の物販大富豪：

そうやろ、この熱いスープ・・・これが体暖めるんじゃろね

真田孔明：

そうですね、暖めとくとやっぱりいいですね、手先とか・・・

真田孔明：

でも、成功されている方ほど、その部分だけを自分がやって、他全部をほかの人にやらせるみたいにやってるんですよ

北の物販大富豪（妻）：

やらせっぱなし



北の物販大富豪：

笑

真田孔明：

でも、そこだけ自分がにぎっているんで、そのシステムの中で・・・う～ん

北の物販大富豪：

本当にそうや、三角形作った後、頂上だけ握っとる

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

三角形あるやろ、そこの中に三角形3つ作る、すると真ん中に逆三角形が出来る、それが俺の握るところ

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

わかる？それをまた作ると、また逆三角形が出来たんで、ひとつしか無かった逆三角形が今度2つに増える訳、このシステムは俺のシステムやからできる

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だから、自分の作った会社から自分がピンハネするんや、わかる？ピンハネちゅ～

真田孔明：

あ～ 笑 これを誰かに同じ事を新しくやれって言っても難しいでしょうね。感覚・・・降ってくるんで、全部、●●さん（北の物販大富豪）の場合は・・・

北の物販大富豪（妻）：

そのまま伝えるのは難しいよね

北の物販大富豪：

うん



真田孔明：

どうやって勉強したんですか？って言っても永遠に答え辿り着かないですよ、降ってくるんだもん・・・本当に

北の物販大富豪：

答えがないやね

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

よく、あの病院の先生方がさあ、社長それ、どうしてそうなるの？って言うわけや、それ言うてもわからんわ

真田孔明：

説明が出来ないんですよ

北の物販大富豪：

出来ないんじゃないくて、説明する能力が無い

真田孔明：

いえいえいえ

北の物販大富豪：

方程式も本当やったらさ、Xはこうなって、こうなって、ここに答えでますってなるやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ここが無いやて、全体が・・・

真田孔明：

答えですよ

北の物販大富豪：

問題だけ、だから結果さえ良かったら出ておると・・・



真田孔明：

これも四柱推命で出ていると・・・ほら今、バッチリ当たるわけじゃないですか、今までの過去をそんな知らないのに・・・

北の物販大富豪：

あ～

真田孔明：

これが四柱推命なんですよ

北の物販大富豪：

ああ 本当

真田孔明：

だからもうハマっちゃったんです僕

北の物販大富豪：

はは～

真田孔明：

長女も次女も、もう今から判ってるんで、それ以外の事怒んないようにしてるんですよ、出来なくて当たり前っていう

北の物販大富豪（妻）：

あ～

北の物販大富豪：

特に、説明ちゅうのは・・・まあ・・・僕だって説明できない

真田孔明：

うん

真田孔明：

この間のIP細胞の人いたじゃないですか？自殺しちゃったじゃないですか、あの人も答えは出たんですよ、四柱推命でみると・・・その説明を誰も証明できないですね

北の物販大富豪：

笑



真田孔明：

あれ本当だったんですよ、だからたぶんあれ、それを西洋医学の場合は証明しないとダメじゃないですか、途中の方程式を・・・あれが出来ないんですよ・・・たぶん、まさに感覚の人ですからねあの人

藤村：

またすぐ日本ですか？

真田孔明：

いやいあ 行かないです。10月の下旬に行きますけど、もう1回

藤村：

香港で

真田孔明：

香港で・・・来月は、フィリピンに行こうかと・・・

藤村：

あ～

北の物販大富豪：

今日、Facebookで、●●が撮った写真みたら・・・凄い、いいレストランやっとなよ

真田孔明：

どこですか？フィリピンで？

北の物販大富豪：

いや、香港で

真田孔明：

ああ、香港で

北の物販大富豪：

だから、今度会う時は香港でな

真田孔明：

あ 香港いいですね

北の物販大富豪：

笑



北の物販大富豪：

やっぱ、人生はほら、人生短い、後、だからさあ、できたらさあ、美味しいもん食べてさ、ね

北の物販大富豪：

でも、酒を控えめにして、料理は2皿食べたら早死にしたって

真田孔明：

酒は・・・笑

北の物販大富豪：

なんか、アルコールとニコチンとカフェインで生きてるようなタイプや、毎日の私生活見ると、この3つにほとんど・・・後は、こういう乾杯ぐらい飲んで・・・タバコをばかばかやる・・・で酒ガブガブやる、でも、ここ1年ぐらいは、週3日か4日は飲まんでね、節制して・・・週1~2回

真田孔明：

節制して 笑

北の物販大富豪：

もう1日その先輩とね、喫茶店ぐらいで・・・

北の物販大富豪（妻）：

昼でも飲んでる

北の物販大富豪：

そうだね 昼から焼酎・・・焼酎じゃねえ、ウイスキーとだいたいワインを・・・ だから藤村さんとこ行っても3本ぐらいは・・・調子上がってくるとさ、ス〜っと入ってくる 笑

北の物販大富豪：

あそこまで来たら病気やね、上手に飲む事を思い抱いてから、最後の3本目は開けんでもいいと
いっとったやろ だから、上手になったなってね・・・飲み過ぎが1番良くないって

北の物販大富豪（妻）：

散々、飲んでんのね

北の物販大富豪：

食事したとき2本目で・・・3本目開けなくていいと言ったやろ、あの1本でかなりかなり体をいたわったなと思うよ



一同：

爆笑

北の物販大富豪：

こうやってバカな話しとると本当に真面目になってる・・・自分でも真面目な方向に向かっとるんかな？って思うよ、北の物販大富豪：

病院の先生もそんな事言うとりよ、毎日飲む酒が1番良くないよと・・・やっぱ1週間に1回とかさ2回とか抜いた方が・・・

真田孔明：

肝臓が休まる

北の物販大富豪：

そうそう 休まる

北の物販大富豪（妻）：

毎日、皆で夕食の時、家族が・・・ワインかビールかでもめる ねえ？

真田孔明：

あと甘くない豆乳とかを飲んだり・・・血を作るやつ、う～ん 血が足りなくなるんですよね、飲んじゃうと・・・そこが問題になっちゃうんで

北の物販大富豪（妻）：

豆乳がいいわけ？

真田孔明：

血をつくるやつ、甘くないやつですね

北の物販大富豪：

豆乳とサーロインとひれでも大丈夫だね、血の滴るようなやつ

真田孔明：

それいいですね、血のしたたるようなやつ

北の物販大富豪：

肉はかなり食うね、俺は

北の物販大富豪（妻）：

食べるね



真田孔明：

ああ それはやっぱりエネルギーの・・・

北の物販大富豪：

ハワイなんか行ったら、もう朝から・・・安いよなあその肉

北の物販大富豪：

こんなの3枚か4枚入ってるけどさ、前は、たまに朝から油引いてジャ〜ってやって肉、またね、なんか、あれ肉だけ食べてるせいか、元気になったよな気がする

真田孔明：

そうですね、理想はやっぱりね、45歳過ぎたら理想は、ほんと肉ばっか食ってる状態、タンパク質、そうやって食べないと、炭水化物食っちゃうとそれ消化できないみたいですね、それで、筋肉から栄養とっちゃうみたいなんですよ、体が・・・でも肉とってると平気みたいで・・・

北の物販大富豪：

俺のちょうど15下、あんたたちのもうちょっと上か、友達ね、コンピューター屋なんやけど、彼がやっとなのが肉ダイエット

真田孔明：

肉食わない？

北の物販大富豪：

肉しか食わない

真田孔明：

ああ 肉しか食わない すごい

北の物販大富豪：

ぼっちゃぼちゃの体していたんだけど、この間見たらコンコンな体してた

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

いや、本当にや、でもう麺、ご飯

真田孔明：

こういうの少なくして



北の物販大富豪：

おれはもう肉しか食わん、肉、肉

真田孔明：

ある意味正しいかもしれませんがね、健康な状態じゃないとね、あれですけどね、それも・・・日本これから寒くなって大丈夫なんですか？環境的に

藤村：

あ～来週日本帰るんで、年末の1週ぐらいに・・・

真田孔明：

はい、こっちに帰って来る

藤村：

10月5日にセミナーが大阪で決まってるのがあって

真田孔明：

へ～大丈夫ですか？ 笑 出版系で？

藤村：

いやいや、歯科医の先生で・・・歯科医の先生って何ヶ月も前からスケジュール・・・迷惑かけちゃいけないから

北の物販大富豪：

歯科医の先生て何のセミナー？

藤村：

まあ海外の・・・ジョホールバルとか、こういう発展性のところがありますよ、本で書いてることですよ

北の物販大富豪：

ふ～ん

藤村：

先生方ってのは、勉強するの事が好きなので、そういう新しい事やって、ちょっとこう書籍から学びたい・・・

真田孔明：

うん、権威ある物から 笑



藤村：

司会される歯科医の先生が参加者みんなに私の本配って・・・

真田孔明：

この先生これで・・・笑

北の物販大富豪：

ただ単に、あの～学びが違うね、我々は魚釣りで言うたら、竿買ってすぐ餌買って釣りにいくやろ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そうじゃない、まず本で

真田孔明：

本で 笑

北の物販大富豪：

この魚はこういう名前と呼ぶんだちゅって、次ビデオを買って、釣りのビデオ買って現実にやっているのを見て釣り竿を実際上げ下げして、それから本番に行くと・・・本番に行っても全然間に合わない 笑

一同：

爆笑

北の物販大富豪：

もう、やめてやめてやで

真田孔明：

●●さん（北の物販大富豪）の場合は、全部感覚ですよ

北の物販大富豪：

そうそう、山も川も海も、わしらそんな感じやもんね、だから・・・ そのときの・・・魚釣りの感覚、ゴルフの感覚、野球の感覚、全て感覚だけ、だから、みなさんの様な高度な知識とか高度な考え方、まるっきりねえ



真田孔明：

じゃ無きゃ日本の本当の仕組みに気づかないですもんね、 笑 学んだら日本の嘘の仕組みの方に行っちゃいますからね 笑

北の物販大富豪：

本当にそうだよ！

真田孔明：

本当そうですね、東大、京大出たら間違いなく、こっちの方に行っちゃうから

北の物販大富豪：

お医者さんてさ、医学、ここだけ知っとるの

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

あと、全然知らんわ！ だからもう、あの方は、ていの良い人間を提供してるなと思ってさ

真田孔明：

本当凄いですよ、ほらお医者さんがチームにいるじゃないですか？西洋医学の、あの先生達は、自分で東洋医学を学ばない限り直し方知らないんですよ、この患者が来たらこの薬あげなさいって方法なんですよ、あれ

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

だから、いかにこれがマッチしてるかどうかだけなんですよ、正確に、この患者にはこの薬っていう、これがおぼえているかどうかということだけで、恐ろしい仕組みですよ、あれ

北の物販大富豪：

そう、恐ろしい仕組みや

真田孔明：

まさに●●さん（北の物販大富豪）達の為にあるような 笑

一同：

爆笑



北の物販大富豪：

でも、確かにそんなやで、あたしが遊んで暮らせるのも、先生方が処方箋をどんどん書くから・・・ 今日、そうしてお陰で酒が飲めとる

真田孔明：

今こうしてる間にもお医者さんが一生懸命処方箋を・・・ 笑 大学を出たお医者さんが！ 笑 恐ろしいスキームですよ、だから国家は50兆の内30兆つぎ込んでるし、国民もみんな健康保険って払ってるし、すごいですよね、この仕組みは・・・ みんなが買い支えている

北の物販大富豪：

そやろ・・・ ほとんど、そういうような生活しとると・・・ だから、絶対俺が動かないってのが得なんよ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

じ～っとしとった方が1番無難なわけ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

金持ちは・・・ 本当の金持ちは無職で動かないんや、ベンツでも、おそらく2500ccから3500までやで、目立たないように

真田孔明：

あ？ 目立たないように！ 目立つと刺されると・・・

北の物販大富豪：

そう、本当だよ・・・ だから、無職に1番金持ちが多いっていうのは、そこなんや

真田孔明：

タイトルも何も要らないと

北の物販大富豪：

そうそう タイトルまでいらないやろ、で絶対目立つ事しないやろ、なんだかも古い車、そやろ、フェラーリ乗ってテレビなんて出おったら、本当に1年か2年経ったらいなくなる



真田孔明：

うんうん 確かに、僕もアメフトの高校のアメフトの同級生に、●●君っていうのがいて彼は30代続く大家の一族なんです、東京も八王子かどっかのど真ん中の方にド〜ンと持ってるんですよ

北の物販大富豪：

う〜ん

真田孔明：

30代続いてるんで、彼公務員やってるんですよ、それで今当主なんですよ、お父さんも次女も死んじゃって・・・公務員 笑 何千億どころじゃきかないぐらいもってるんですよ、資産相続で言うと、あれ多分使っちゃいけないお金で・・・親族が全部監視してるんでしょうね、あれ、それなのに公務員やってるの普通に・・・

北の物販大富豪：

いやだから、トヨタは今のね、豊田なんとかというのが社長になってるけど、あとは日産にしろどこにしるさ、全部知らないから、作った人とは、ただ、全ては社長というのは、雇われ長これが1番無難と言われとる、で、日本の経済、小中高大専攻して来た人っていうのは、まともな人間を作とるのやから、ね、起業した人ってのは、まともでないやつが起業しとるわけやから・・・まともでないから、ようは円の中にいれなかったから外に出とる、外に出たら自分だけで気分いいやろ、だから自分で商売やるようになった

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

それはだから、ひとつの自然の法則なんや

真田孔明：

自然の法則 笑

北の物販大富豪：

わかる？半端者やゆうことやで、半端者、日本経済からすると半端者・・・でも、今日本経済が1番困っている事はなんかって言ったら、半端者がいなくなった

真田孔明：

う〜ん



北の物販大富豪：

みんな、内気で内向的になってさ、金に欲ねえ、英語？とんでもない、私は日本語できれば十分、海外も行きたくない、何もしたくない、わたしは、女のように顔は綺麗に白くなりたいゆうてさ、脱色してるような、エステ行ってすね毛が気になるなって言って、美容整形いってさ、先生悪いけど、3カ所ぐらい・・・してくれない？

真田孔明：

あ、ビール大丈夫ですか？

北の物販大富豪：

ある、そこ残っとるのでいいよ、酒断とうと思ってるんやから

北の物販大富豪：

だから俺、この間新聞見とってさ、起業した人、国のプロジェクトにあった企業をしたら、1,500万の補助金が出す

真田孔明：

そうですね、あれ、補助金ですんですよ、給料をもらっていいんですよ、しかも

北の物販大富豪：

そうそう、その下に書いてあった、何年か分の助成金も出すって

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

援助交際やね・・・ だから俺もう1個会社作ろうかなって思ってさ、この間から司法書士の先生に「先生なんかさ、あの文章読んでさ、なんか当てはまったら俺もう1個、なんか適当名前・・・

真田孔明：

適当な名前！ 笑

北の物販大富豪：

名前なんてなんでもええから俺、申請を打つやから・・・

真田孔明：

銀行が好きな名前だったらいいわけですよ



北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

銀行とか国が・・・

北の物販大富豪：

うん 銀行が、ついこの何年間か、バブルが終わって15年ぐらいは、カタカナの会社嫌がったんや、ところが、自分ねえ、漢字社名の会社にズラ～っとしたら、みんな倒産したと・・・古い店舗、不良店舗で・・・最近カタカナの会社好きなんやて！

真田孔明：

え！？

北の物販大富豪：

●●●●とか●●●●、●●●●とか、結構カタカナの会社あるよね

真田孔明：

あ～

北の物販大富豪：

●●●●●●●とか●●●●とかさ●●●●とかそういうのは好かれん

真田孔明：

あ～そうですか 最近カタカナ

北の物販大富豪：

ソフトバンク・・・「ソフトバンクはいい会社なんですよ」っていうからソフトバンクは親戚みたいなもんやって嘘ついた 笑

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

若手の銀行員にいったや ただ、結構カタカナの方が最近・・・

真田孔明：

カタカナですか



北の物販大富豪（妻）：

カタカナは・・・漢字の会社ダメ

北の物販大富豪：

そうそうそう 後はカタカナやわ

真田孔明：

全部今も

北の物販大富豪：

今は

真田孔明：

●●さん（北の物販大富豪）の会社も・・・

北の物販大富豪：

うん、うちは、だから会社がだいたい・・・日本の国に、8つか9つあるわけやから、そん中の4つか5つがカタカナやな

真田孔明：

へ～もう・・・

北の物販大富豪：

やめた会社も●●●●●ちゅう会社、●●●●●、●●●●●●●ちゅう会社があったね、
●●●●●●●ちゅうのあったね、それでもまだこれだけあるんやから・・・

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

税務署がガサ、警察入れたときに、税務署の人が聞いた

北の物販大富豪（妻）：

「社長、どうしてこんなに沢山会社つくったんですか？」

真田孔明：

あ～

北の物販大富豪（妻）：

「あんがい作るの好きだったのよ」って



真田孔明：

あはは

真田孔明：

弟に今、物販をね、会社作らしてやらせようとしてるんですけど、まだ社名決めてなかったんでね、横浜文化貿易にしようかなと思ったんですけどね、堅い奴に 笑

北の物販大富豪：

笑

北の物販大富豪（妻）：

堅いね～

真田孔明：

あえて 笑 やめた方がいいかな 笑 カルチャーとかにした方がいいかな 笑 カルチャートレーディングとか

北の物販大富豪：

そう、軽い方が、今は、時代は今言ったように、選挙も、もうおたくらの歳なの

北の物販大富豪（妻）：

30~40代よね

真田孔明：

あ～そうか、そうか・・・ 横浜カルチャートレーディングでいいですかね？

北の物販大富豪：

そうそうそう そこら辺のほうがまだいいわ

真田孔明：

笑

藤村：

なんで文化をいれるんですか？

真田孔明：

いやなんか色々・・・服とかそういうのとか色々なやるっていう・・・カルチャー売る、物売るんじゃないくて僕たちは文化を売るんだ、という理念のもとに・・・うん、入れとくかなって 笑 ダメですか？ 笑



北の物販大富豪：

あのね、理念なんか持ってたら絶対ダメ

真田孔明：

ダメですか 笑

北の物販大富豪：

はっきり言って、出し特やからな

真田孔明：

何でも・・・

北の物販大富豪：

儲かるもんなら何でも手つけますよ、そんな雰囲気が出さないと

真田孔明：

そういう感じでやんなきゃ駄目ですね、すると 横浜・・・何でも屋・・・

北の物販大富豪：

カルチャーセンターとかさ

真田孔明：

カルチャーセンター

北の物販大富豪：

やっぱり、あれだよ名前はダイナミックに、やっとなる事は・・・

真田孔明：

トレーディングってつけちゃ駄目ですか？

北の物販大富豪：

トレーディングもいいよね

真田孔明：

あ いいですか・・・横浜カルチャートレーディング

北の物販大富豪：

そうそう、そういうような雰囲気の名前にしとけや



真田孔明：

はい、それで何でもやりまっせっと

北の物販大富豪：

そうそうそうそう、やっぱだから、どういの・・・パ～ンという弾く軽いノリでないと成功はない、そんな私あなただけを見せてくださいなんてね、24の腫じゃあるまいし、そういう古い考え方もうダメなんや

真田孔明：

いや、新しいですよ、やっぱり！凄い！四柱推命の面識どおりっすよね！ 笑

北の物販大富豪：

いやいや、皆そんなパターンを追ってるから脱皮できないとかさ、俺なんか薬屋やってて、2000年に介護保険にいったやろ、介護保険

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

2000年の日には介護保険0円やった、そなら・・・とき10兆使った、介護保険に・・・だから重いんやそこや

真田孔明：

だってあの時、助成金が出てたんですよ？一時期・・・あの～おじいちゃん1人辺りに、1日1万円とか出てたんですよ？昔は

北の物販大富豪：

俺、だから助成金が好きなんや、補助金とか助成金とかね

真田孔明：

その時にぽ～んと飛びこんだら

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

あ～でも今調べていくと、今日もいろんな提案をしたんですけど、調べていくとそれが全部ブロックされてるんですよ



真田孔明：

もう、国に・・・

北の物販大富豪：

だからね、本当にね、遅い事してんだよ

真田孔明：

してないですよ、気づいたら遅いんですよね・・・全部、気づくの、1歩遅いの・・・1歩どころじゃなくて

北の物販大富豪（妻）：

1歩先じゃないと

真田孔明：

あれが難しいんですよ

北の物販大富豪：

だからすごいね、いや、先にばっと見とるところがすごいんやけど

真田孔明：

全部ね、もう、●●さん（北の物販大富豪）達が全部やり尽くした後なんです 笑

北の物販大富豪：

だから、1番大切なのは何かいと言ったら、情報なんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

わかった？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

国が今たとえば何？たとえば今介護保険作ったと・・・そこから知らないと、ね、援助交際してくれん

北の物販大富豪：

申請第1号、これでぐっと行ったらいい



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪（妻）：

常に1番先だもんね

真田孔明：

●●さん（北の物販大富豪）の場合はですね、ある意味本当、あの未来から情報降ってくるんですよ、四柱推命で言うと、未来からなんですよこれ

真田孔明：

人の進から先にある細胞君なんで・・・細胞君で言うと、ここについていくのはね～ちょっと僕だと無理、僕は人と人と物と人をつなげるタイプなんで、細胞君で・・・

北の物販大富豪：

まあそこは、四柱推命の大特許やね。だからそこを、1番大事なのは情報網やから、情報を網羅してさ、ありがと・・・気にかかってたんやで、これだけが・・・

真田孔明：

いや～難しいなあ～

北の物販大富豪：

あれね、あんたの言う通りみんなの給料も全部助成金

真田孔明：

助成金 笑

北の物販大富豪：

申告すりゃ、するほど出るんやから、カップエビセンと一緒にやで、やめられない止まらない
笑 それでさ、最初作ったのが、●●●

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

調子に乗ると、●●●、●●●、●●●●●

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪（妻）：

デイサービスよ

真田孔明：

デイサービス・・・全部助成金？

北の物販大富豪：

そうそう、助成金や、それが終わったら、今度はあの～、有料老人ホーム

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「先生、助成金それ使わないの？」って、「大丈夫大丈夫大丈夫、うん、やっとかから」阿吽の呼吸ちゅうのは、こういう事言うのよ

一同：

爆笑

北の物販大富豪：

今はもう1円もつかないから

真田孔明：

つかないですね、もう、調べたらあんまなかったですもんね

藤村：

つかない事業は辞めていくんですかね？つかない事業は辞めていくんですか？ある程度それまでに回る仕組みをつくらないと・・・

北の物販大富豪：

回る・・・だからあのね・・・ヨーイドンで、1番重いのは車輪が1回、廻る時までが1番重い・・・あれ廻ってしまえば、なんとなくこう廻っていくわけや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

おそらく、うちの会社も、なんとな～くみんな介護をやってさ



一同：

笑

北の物販大富豪：

みんなお風呂入って、「おば一ちゃん、今日ももう3時半になったらもう帰る準備だよ」言うて、
4時になったら全員おらんがな、あれ

一同：

笑

北の物販大富豪：

で、来る時は、ね、9時過ぎから迎えに来て、10時になったら入る、んで4時になったら終わり

真田孔明：

うん

北の物販大富豪（妻）：

9時に入ってるのよ

北の物販大富豪：

10時に入っとる

北の物販大富豪（妻）：

9時、9時、9時に入ってる

北の物販大富豪：

9時に？

北の物販大富豪（妻）：

9時、だから早く迎えに行ってるじゃない

北の物販大富豪：

自分の会社がどうやってるのかよく知らない

北の物販大富豪（妻）：

知らない

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪：

だから、従業員に会っても相手わからん、俺もわからん

真田孔明：

この人、オーナーだって 笑

北の物販大富豪（妻）：

わからないわからない、ね

北の物販大富豪：

この前、自分の薬局行ったよな？ 昼になったのかなってジロジロ見とったんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そしたら若い女の子が、「お客さん、なんか御用なんですか？」

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

いやいやいや・・・じろじろじろって見て、「なんか変な人ですね」みたいな事言われてさ

真田孔明：

じろじろ見て

北の物販大富豪：

話とったんや、いやなんとなく「いい薬局ですね」みたいな事言って

一同：

爆笑

北の物販大富豪：

薬剤師の先生が、「あ～！会長！久しぶりですね！」

真田孔明：

漫画のような！爆笑



北の物販大富豪（妻）：

本当・・・そんなもんなのよ、知らないから・・・行かないし・・・

真田孔明：

現場の子は

北の物販大富豪（妻）：

そうそうそうそう

北の物販大富豪：

2～3年もすれば、どこの会社もだから、エンジンかかる

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

だから企業ってのは、まともな奴が回せばいいんだ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

はみ出し者がさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

やっても・・・ ダメ

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

そこをね、ちゃんと納得してるか？

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

学校と一緒にさ、「わかりましたか？」って聞いたら、「は〜い」っていう時って・・・

北の物販大富豪（妻）：

今は、薬局には薬剤師さんがいるし

真田孔明：

はい

北の物販大富豪（妻）：

デイサービスには、ケアマネがいるし、・・・がいるし、しっかりしたのが中にいるの、だから殆ど行かなくてもいいの

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪（妻）：

うま〜く、一緒にやってれば・・・

北の物販大富豪：

高校ね、停学の奴、結構多いから

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

俺さ、この顔でさ薬局やってたらさ「おばあちゃんいらっしゃい！」誰も来んや

一同：

爆笑

北の物販大富豪（妻）：

みんな大不評よね

北の物販大富豪：

奥さんどう思う？おばあちゃんに向かって俺みたいなのが「おばあちゃん！背中流してやる」って

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪：

いい？あんま、似合わへんやろ？ だからみんなに断られるんで・・

真田孔明：

ええ、ええ

北の物販大富豪：

なるべく現場出んようにした

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

俺が別に働くのええんやよ？

真田孔明：

ああ、ああ

北の物販大富豪：

マンションのベランダは、俺が全部塗った

真田孔明：

おお、おお

北の物販大富豪（妻）：

裏方をした

北の物販大富豪：

ペンキ、風通しがいいし、光の差すところはしないから・・ビルやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

日陰になるやろ？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

今、日陰になったら行って、こうペンキを塗る訳や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

風がひゅ～っと吹いてさ、タバコ吸うとおいしいんやて

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

ちょっとやってたら、最近はなんか下のわかってる者がさ、手入れするのがわかっておったら、やって来る

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

また俺、仕事を取り上げられた

真田孔明：

笑 仕事取り上げられ・・・

北の物販大富豪：

ほんとそんなや、働いてもええなと思った

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

最近残ったのは、だから先生方とするゴルフと魚釣り

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それは他の人にはできないやろ？



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪（妻）：

できないよね

北の物販大富豪：

なんで俺はほう、これやっとなるやろ？また夜も酒飲みしとると、当然あと、こういう事しとるから、肝臓が弱っぽくなっとんのや

真田孔明：

笑

藤村：

すごいですよね

真田孔明（妻）：

すごい

北の物販大富豪（妻）：

ああ～来た来た

真田孔明：

どんどん増えていくね

北の物販大富豪：

金も増えるぐらいやな、こうやって

北の物販大富豪（妻）：

ね

北の物販大富豪：

金でもね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

増やす仕組みって言うのはね、金ってのは寂しがりだやから



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

出す時に、お金さ・・出すときに1万円札とかパッと出すやねん、俺は「友達連れて帰ってこい」言うねん

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

そうするとパッと友達連れて帰って来る

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

俺は、しょっちゅう金出すときに言っとんのや？だからそれを、政治家の先生にパッと言わんやけども、それでこう、金かったけどキジは（1万円札）、キジは友達連れて戻って来るからね

北の物販大富豪：

という事は、先生に「あんた、ねえ、僕も友達を連れて戻って来るよ」という、しっかりお願いします

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

こういう遠回しな上手な会話って余りした事無いやろ

真田孔明：

ないです、あんま

北の物販大富豪：

シンプルイズザベストというのはこういう事言うとするのや

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

遠回しに、柔らか〜く、ねえ、やっぱ言ってあげると、相手も聞きやすい

真田孔明：

うんうん

藤村：

弟さんがこれから、そこら辺がうまくいくと・・・

真田孔明：

銀行の受けはよさそうですけどね、真面目なんで、顔が真面目だし

北の物販大富豪：

あ、弟さん？

真田孔明：

はい、僕みたいに前のめりじゃないんで、本当

北の物販大富豪：

今の銀行はね、押すとね・・・ほとんど弱いから

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

押すと弱い、だから普通に同級生の会話みたくしとくと、銀行ってのは絶対折れてこん

真田孔明：

ああ〜

北の物販大富豪：

バンバンとこう押さないと

真田孔明：

押さないと・・・あ、そうですか

北の物販大富豪：

でね押すと、あの〜、1ついいのは、「お前、何言ってんだ！」こうやって言うと、俺が間違っ
とったんかなって思うもん、だから、間違い、気違い、勘違いって良く言うやん



北の物販大富豪：

だから、間違いと間違いよく似とる、本当にね、人間びっくりした時にね、全部違った方面から叱られるとドキっとする

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

今、学校でも、叩いたり怒ったりしないやろ？

真田孔明：

ああ～その層の人が中心だと、銀行の・・・

北の物販大富豪：

そう、だから異物が入ると皆びっくりする

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

言語で言うと拒絶反応

真田孔明：

急に支店長に電話しちゃうんですね

北の物販大富豪：

そうそうそう、だからさ、そういうあの～トリックやな・・・

真田孔明：

う～ん、ま、秘策は難しそうだな

北の物販大富豪：

1番いいのは、まめに銀行に行く事

真田孔明：

まめに

北の物販大富豪：

商売の基本って知ってる？知らんのやろ？まだ？商売の基本ちゅうのは、まめに良い仕事



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それ商売の基本

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、明治維新前から言われてる商売の基本、まめによい仕事して・・・金はさ・・・教えたやる？・・・あとは、お前人間は勇気、実行、行動力

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それが出来るようになって、ね、サザンが9・11・・・

真田孔明：

言葉がば〜っと出るのが凄いですね、この 爆笑

北の物販大富豪：

酒この程度の・・・ ゴジラに酒飲ませてみな？お前？止まらんぞ

一同：

笑

北の物販大富豪：

深いとこの三角形の引き方ねってさっきの、あれとおんなじ事、今、言ったんやけど

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あれ、文章にあおいだら、この三角形はここ、この三角形はここ、逆三角形は・・・全部言うたら三角形自体は同じやろ？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

頭2つだけや、3つだけ、3つならサイズは7、3人おるから1個づつ覚えておけばさ・・・明日の金を握った・・・

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

あえてお医者さんとも、そういうバカな事をしとると、飽きんと酒飲まれる、こんな話して酒飲んで面白い事したい

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

このデータ、本当かな？違ってたらもの言われん、違ってたら先生も俺にもの言いよるんやから

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あんたのチャンスは、その1回しかない

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

人生に1回しかない

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺の間違いつてのは、それくらい万分の1に等しいと・・・

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

こう遠まわしに言うとするわけや

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

本当にそれでいいの？社長？「僕が買ったのは1年間に30円しか配当ないんだけどね」

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

先生にしたらその夢物語りよ、夢物語や、先生のもっとるファンドは30円、1万円の原価が小銭になって30円

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

ほとんどの人がそういうもの使ってる、だから社長の責任でやってくれるからさ、元本保証でたまは撒いてあげるから、何%欲しいねん言うたら、「もし社長ヒットしたら10%で」、10%、よしや、じゃ頑張ります、これがいちばん儲かるやろ、だから金儲けってのは、そんなに難しい、情報の早取りと後取りなんや、みんなそれ買ったら社長や社長や、言うようになる、みんな金持てるがな、みんな俺よりもはるかに頭が百倍いいとみんな思っとる

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

でもなんで社長選んだんか言うたら、彼らは、全部・・・だった

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

まず病院という・・・を作ってもらって、前に薬局作ってもらって、そして今度は投資ファンドを教えてもらった、でも（一度に全ては）教えない、次のネタは、次の（時に）



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

全部言ったらさ、面白くもおかしくもない

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

だから・・・ちびちび出す

北の物販大富豪：

だから孔明はこの間、ぱ～とさ、人50人集めてさ、データベースにば～っと出したら、もう誰も文句言わんやろ？

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

なんでや？実績ほど、崩しようがないんや

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

みんなね、（言わんでも）心の中で・・・みんな思うとる訳や、すごいな・・・最初あの聞いた時にやっとけばよかったと思ってるのがほとんど

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

俺もあの時、1,000~5,000万くらいなら用意できたとかさ、ひで～奴は、俺だって2、3億持ってきてるから、3億1本釣り買うときやな・・・その結果が数字の・・・孔明は言えばつくんだと思ってる人は多い

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

でもみんな辛いから・・・みんな辛いから、聞きとうない

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

実際を見せつけられたほど、人間のショックはない

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

マジでや

真田孔明：

ここでちょっと、立ち上げます・・・1個 笑

北の物販大富豪：

人間のね、1番辛いところは、逃がした魚

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

昔から言うやろ？逃がした魚は大きかったやて？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だからそこが、1番のポイントになるんじゃないかと、わしは思うとる

真田孔明：

ちょっと、頑張ります

真田孔明：

お父さんの何やられてた人なんですか？



北の物販大富豪：

うちの父親は鳶職ね

真田孔明：

ほお～

北の物販大富豪：

農業と鳶職

真田孔明：

ほお～、あ、じゃあ1代で築かれたんですか？

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

本当、凄いですね

北の物販大富豪：

でも新婚旅行帰ってきたらね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その時に、祝儀もらったやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

新婚旅行って、だいたい10万円残っとたんや、ね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

よし、これで商売やろうなと



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

その時に、自分の家に帰った・・・それまで家出少年やったから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪（妻）：

家出少年、私の家に・・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

でよ、で、会社でも、ね、まあ円の外側になって、なんか会議になってもさ、会議しながら「専務お前バカじゃない？会議して、お前成績あがれば、どんなところでも会議ばっかやっとなるやろ」
ね、こんな無意味な事やっとなる事自身が無駄な事やろ、というのが俺やねん

真田孔明：

ああ～ 笑

北の物販大富豪：

となるとね、成績がよくても・・・冷たいよね・・・目線が

真田孔明：

会社の？ 笑

北の物販大富豪：

会社の目線が・・・よこに高岡営業所長、と金沢営業所長、富山営業所長とか・・・

真田孔明：

その時は何をやられてたんですか？

北の物販大富豪：

薬屋や

真田孔明：

病院まわり、MRってやつですか？



北の物販大富豪：

そう。俺・・・やろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

MRなんて、薬剤師の仕事やよ？ありゃ？

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

わからないのや、・・・なんぼ見てもさ、見た事ないんや 俺がさ、いたのは・・・自分を動かすにはノーサービス、ウェスト、

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

もうそんな特許は知らねえと・・・これは塩素、酸素とくっついて脳の細胞のなんとかや・・・俺、本当そういうのやって、わかったのは、ひとつだけやったね

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

・・・バカ共は、自分は医者でもない、薬屋に・・・メーカーに習った通りにMR言とるわけや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あ～これはバカやなと思うたやね

真田孔明：

はいはい



北の物販大富豪：

それです、みんなノルマかけられてさ、いやいや・・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

皆やめてさ・・・俺なんかはトップセールスになるまで6ヶ月ぐらいやったね

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

ノルマがこう・・・段階ある、30万、60万・・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

120万・・・最高のノルマ、4万円の給料にそれで3万か4万や、ボランティアか？そんな時代・・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

俺が受けたの1000万や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

売ってた金額が・・・俺たからよくハンパないんだったらさ横柄やから

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪：

そんな感じで、売り上げは大きいわ、金沢の営業所、全部かかっても俺の売り上げにならん
のやる？お前一体、なにやとんのや？こっちは、どっちが経営者かわからんから、相手怒る
やる？んで退社

真田孔明：

笑 そうそう、飛び出して行って

北の物販大富豪：

飛び出しやないけど、ボーナスもらった時に、専務と社長がいてボーナス出したんよ、9.5倍
っていうのを出しとったからね、9.5倍だから当然、過大なボーナスやった

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

で俺がその時に、ありがと言うたら、「部長、ありがとう」言うた、「これ、どうもありが
とうございました」って言うたやる？そこにドアあって出て行くドア、1歩2歩3歩、歩いたって、
ドアに手をかけた時に、専務が「お前なんか、不服あるんかい」って言うのや、パツと振り向
き様に言わんでええ事一言、言うたやねん、「なんか専務・・たいした金額じゃないですよ」

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

あの一言が、会社を辞める気になった

一同：

爆笑

北の物販大富豪：

超おもしろいやる？ いや俺は、いやいやそのちょっと前に、そのメーカーさんが俺にさ、「●
ちゃん、あれ売ってくれあれ売ってくれ」って言うのを、お前、俺ここで1,000万売ってやる
けど

北の物販大富豪：

どれくらい利益あるのかって言ったら、300万あるって言うから

真田孔明：

う～ん



北の物販大富豪：

俺、あれ聞いて、あれ聞いた後すぐボーナスもらったやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね。9.5倍のやつ、38万円やぞ

真田孔明：

38万円、 爆笑 当時の！基本給があれでも？

北の物販大富豪：

そやろ？今回はさ、3歩下がって師の影を見たまま振り向いた時にさ、専務がさ、「ああ～まだまだ・・・」って言うから

北の物販大富豪：

「そんなのたいしたボーナスじゃないでしょ？」って言ったら、「なんや、お前の言い方はない」って事でさ

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

俺も言わなきゃいいのに・・・その一言が・・・あれ12月の15に振り込んだ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それで1週間引継ぎでお前、午後はやめたるわって、お前なんてのは話してても、もう、わりくうのはこっちやねん、言ったら裁判行ったね

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

まあミスったら俺も終わりでもいい、売り先の先生が、「いや～お前が薬出したのに、金なんてなんぼでもあげんやで」みたいなこと言うて



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

それで許認可が出て

真田孔明：

へ～先生が？

北の物販大富豪：

ああ、21歳やで・・・薬事法も知らんし、何も知らんやろ？

真田孔明：

に、にじゅう

北の物販大富豪：

21や

真田孔明：

21のとき 笑

北の物販大富豪：

会社設立とかさ・・・許認可回収とかさ

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

だから本当、なって感じで、「あ、先生、この先ちょっと知り合いなんだって？」富山県の部長は自分の大学の東京女子大の後輩だから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

何でも言う事聞くよ、俺の方は許認可が、ね、俺は下の車庫で許認可もらったんじゃないかって、中の2階の部屋で、応接間で、許認可



真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だからほとんどは出発から・・・

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だからその、性格、人間関係、外部からわかるとるわけや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ヨーイドンがそうだったから・・・その時銀行に借金に行ったな、お金ないもんで、叱られて叱られて、「銀行は君のような道楽者に金貸してるようじゃないんや」

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

だからあんたらでも金、調達するの難しいのわかった

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺、あの時言われてね、本当思ったもん、失墜の中で言うてたんやろ？若いやる？上司が？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「君みたいにね、道楽者のあんちゃんのために、銀行あるんじゃないんだよ？わかってるんの？」

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪：

そう言われたらなんとなく励みだよ、強い事言われて

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

殴る事もできんがな

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だって銀行員だもん

真田孔明：

銀行 爆笑

北の物販大富豪：

どうしたらいいかなって、色々考えて

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それから銀行の対応というものを考え始めた

真田孔明：

ああ～、21の時から

北の物販大富豪：

そうそう、銀行の対応

真田孔明：

なるほど

北の物販大富豪：

銀行はだから三角形、時間と約束と金、その3つの三角形を作っていくと



真田孔明：

時間と約束と金

北の物販大富豪：

約束さえ守っていくと彼らは永遠につきおうてくる

真田孔明：

永遠に

北の物販大富豪：

蟻みたいなもんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

こっちが離れる離れる言うても砂糖やから、そういうもんになってるから

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから傘がいらない言うて、ボロボロ言うたら雨降った

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

だからね、銀行は傘貸してくれ、雨の日雨だから傘貸してくれ、これ嫌がる

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

晴れた空、そよぐ風、か・・・青空の時に「傘持って行きます」言うたら「バカか？」

真田孔明：

爆笑



北の物販大富豪：

それで本当に雨降ったら、三度笠でも銀行行くと、傘あるやね？

真田孔明：

三度笠？ 爆笑

北の物販大富豪：

これで大丈夫

真田孔明：

たとえば・・・ 爆笑

北の物販大富豪：

いかに上手に三度笠をねえ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

イタコのイタロウってのは三度笠でうったえるわけだ、こういう風に顔を見せたくない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

建前さえあげときゃ、銀行とはいい付き合いができる

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

俺は、そういうところから入った時期あったから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

銀行からどうやって、さっきのようなの調べていくか？



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

どう言ったら相手が、ねえ、私の言う事を全部受け入れる事ができるか

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

銀行ってのは面白いな、あんたら知らんけども、「貸してもらった」、富山県では「貸してもろうた」言う

真田孔明：

ええ

北の物販大富豪：

借りて、貸してもらった、貸して、もらってるって・・・俺のもんやろ

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

俺のもんやろ？貸してもらったやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

俺のもんなんやで

北の物販大富豪：

ここの価値観がわかるとね、金って言う金融工学は、ものすごく出る

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

貸してもらった



真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

返す必要がないから、信用なくなる

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

俺のとこってみんな、そういう奴ばっかだから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

信用なくなったけど、俺が言ってるのは・・・1カ月分返したら、半年経ったら6ヶ月分を前に、
また貸してくださいよと、そうやってく

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

で、その6ヶ月ちゃんと返すと信用ができるわけや・・・これを40年やってる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

40年

真田孔明：

40年

北の物販大富豪：

あちこちでこれを41年ぐらいこれやっとなるわけや

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

そうすると、未納が出たとか、・・・とか、文句言う社長、全然関係ない、相手から見たら数字やからね

真田孔明：

ああ～、数字

北の物販大富豪：

その銀行の先生に詳しいから聞いてみて、

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

貸してもらったっていうの、もらったっていうのは、本当は返さんでええ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

貸してもらったやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そういうこう、観点からでは、まあどうやったら、汽車のね、1列車よりも2列車の方が長いよ、ちゅうに・・・あと一気に3億や

北の物販大富豪：

結局、つなぎとかやる？

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だから返済してけ言うたら、返済金をこっちにこう・・・平行移動するんじゃ

真田孔明：

う～ん



北の物販大富豪：

だからうちらは、走っとる・・・脱がせまくり取ると言うわけじゃないよ、あれ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だからそこを見てな

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

金融工学って言うのはそういうのを金融工学って言うんや

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

日本の国は印刷してさ、人から利息取って、それがまさしく金融工学

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

どういう事かと言ったら、彼がトリプルエンジン買うたら、あの・・・何金融や？積み立て・・・
買い付け金額

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

どんどんあがってったぞ・・・借金とだから似とるよ

真田孔明：

笑



北の物販大富豪：

そう簡単に言うんやけど、あのゼミで、最近あの・・・あんたの利回り何%言うと40何%言う
と・・・下やる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あれ？ 最近、日本だけになったんかな？と思って・・・あなたが来るようになってから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あんた来るよって、そこまではやらない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

話は聞いた事ある？

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

グローバル高配当リートが、2,200億円集めて

真田孔明：

そうですね、強いっすね

北の物販大富豪：

おかしいやろ？

真田孔明：

おかしいですね

北の物販大富豪：

もっと、おかしいところに気をつけて



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

都合悪いからって

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

あれとかね保険詐欺のさっきの融資相場は、もうあんなところに、いいななんてね、手出した瞬間に別件逮捕や

真田孔明：

別件逮捕！ 笑 いや、金融工学の革新的な1番儲かる方法を考えたんですよ・・・この許認可を取れば、絶対に鉄板の仕組みが作れる

真田孔明：

そこは、もうね、そんなのは、とっくに国の中枢がちゃんと押さえてるんです 笑 1番のあれが押さえてる

北の物販大富豪：

そういう仕組み

真田孔明：

そのところ、お医者さんがあの・・・保険の点数あるじゃないですか、医療保険の、あれ、患者から見て保険の点数ついて、2ヶ月後じゃないと両替できないんですよ

真田孔明：

そうすると大きい大学病院ならいいんですけど、ちっちゃい開業医？キャッシュフロー回らない場合が多いんですよね、でこれを買収してあげる、このファンド

藤村：

ああ～

真田孔明：

これ鉄板なんです、もしできたとしたら許認可いるんですけど、あれ、ポイントを買収するっていう許認可



北の物販大富豪：

本当はね、あれ債権買取できる

真田孔明：

できるんですか？

北の物販大富豪：

できるけど、誰もした事がない、王道がだよ、誰もした事がない、しようとしたら、大体・・

真田孔明：

笑 別件逮捕 笑

北の物販大富豪：

泡に沈んで浮んで来れない

一同：

大爆笑

真田孔明：

いや～危ないところだった・・ 一応、聞いといて良かったです、興味的にも

北の物販大富豪：

だから、上っ面だけは知っとらんと、そういうような

真田孔明：

仕組み自体は合ってるわけですね？

北の物販大富豪：

仕組みは合っとるわ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

なんで、だから大学病院がこういう事をしないと、金が回らないか？ルール知らんのやる？

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

あれは、そういうシステム組んだからや・・・1人平均ね、17日

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

明日、入院

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あんた達のことじゃないよ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そしたら入院するやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

17日以上入院しとると、点数が下がっていく

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

料金が・・・国からもらえる料金が少なく

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

で、それによって、わかる？私立大学、県立大学全部の大学が、資金繰り難や・・・長～く、じゃあ誰がこんな馬鹿な17日間の医療を決めたか？



真田孔明：

確かに

北の物販大富豪：

誰のおかげか？

真田孔明：

確かに

北の物販大富豪：

だろ？

真田孔明：

これ理不尽ですね

藤村：

理不尽ね

北の物販大富豪：

それを今度・・・もっと儲けるために、15日にした

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

もう発表になるから

真田孔明：

あ、15日になっちゃうんですか？もう？ 笑

北の物販大富豪：

そしたら、もっとつくるの目的やる？もっと換金に来るわけや、換金しに

真田孔明：

なるほど、まさに仮想通貨って事ですね？仮想通貨！今流行ってる・・・ 笑 ビットコインより確実ですよ、仮想通貨より

北の物販大富豪：

あれ、絶対間違いないもん



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

自分が、先祖やる？わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

厚生省は、下のほうやよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

自分が頭で、下に厚生省、診療報酬は個人の医者やる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

これ、三角形作ってる

真田孔明：

危ないところですが、あの誰がやってるのかまでちょっと、突き止めたんですよ

北の物販大富豪：

うん

真田孔明：

六本木ヒルズにいる、さっきの人も居ましたね 笑 元総理大臣のご親族の方がやってるって
ところまではいったんですよ、もうそれは絶対手を出しちゃいかん 爆笑

真田孔明：

これはケヤキ坂のってところまではいったんです

北の物販大富豪：

あ～いや、なんかね、そういう事を他人が、そういう事を思いついてやった人もいる



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ほとんど別件で・・・

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

それを無理して続けた人は、大体、川底やね

真田孔明：

ああ～危ないですね、日本ね

北の物販大富豪：

あとはね、簡単に言うと拉致される

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それで終わり・・・おかしいですね

北の物販大富豪：

で、そういうのを、警察にも全部ずっとリスト回るから、「これはきっと拉致でしょう」、先にFAXしてしまうからさあ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

非自然的に拉致よ、たとえば事故死・・・

真田孔明：

危ないっすねえ

北の物販大富豪：

だから、変に手を出すと・・・上の理屈を知らないと、何でも手を出すと・・・やると引っかかる、甘い話程・・・蜜が甘いと思うやろ？落とし穴もでかいんや



真田孔明：

考えつく奴絶対いる

藤村：

海外投資を推奨している人間が、どんどんやられてるじゃないですか？

真田孔明：

そういうの、片っ端からやられてますね。海外投資を推奨している人が

北の物販大富豪：

彼、日本に歯向かってる、藤村お前・・・今やるの危ないって

真田孔明：

爆笑

北の物販大富豪：

テレビにまで出て、宣伝やっとなるやろ

真田孔明：

大爆笑 あら、しかも、って言うか日本にいた

北の物販大富豪（妻）：

基本的に日本に行きたくない

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

だから悪の枢軸みたいなもの、麻原彰晃か藤村か？

一同：

笑

藤村：

身近なところって言うとなれそうですね？

北の物販大富豪：

あの～どういふの？人も来なさい、金も持って来なさいほど、推奨しとるわけや



真田孔明：

ああ～、海外に

北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

金と一緒に

北の物販大富豪：

さらに言うたら金も持ち出すわけでしょ？持ち出したものは何かって言うたら、孔明さんのとこじゃなくて、ざを持ってったと同じなんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あんたはわかっとらんけども、本当は、ざを持ち出した、10億を出すわけやから

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

誰でも怒るやろ？

真田孔明：

なんか藤村さん、体調を崩したのは、多分ご先祖様が守ってくれてるから、ここは手を引けと

北の物販大富豪：

爆笑

真田孔明：

ご先祖様が守ってくれてるから、逆に、もしあれが、原因がわからないあれだったら

藤村：

ああ～、大人しくしてると

北の物販大富豪：

いやだから、本当にね、俺はご先祖様の事はあんまわからんけど



真田孔明：

いやいやいやいや

北の物販大富豪：

案外そういう事かもしれない

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

だからただ、自分の身は自分で守るようなシステムでやってるから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

だから無理して、あぶく銭つかんで

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

変なところに首突っ込んで・・・同じなんやで、原理は・・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あぶく銭つかむやろ？本当にもっとでかい銭つかむくらいで、もうこの世おらんから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

いや～あの、与沢は、あの彼は、秒速1億って書いたやろ？

真田孔明：

書いた



北の物販大富豪：

もうあの時に国が、こういうのはあんまりよくないよと、ね、トップの1人が誰かが言うとか、じゃあさっきの3本の指で・・・殺せ・・・こうなる、あのさっき言った3本で死ぬのやから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

わしも昔言われたんや、「●●さん（北の物販大富豪）君、いくら強い事いっても、君でも3本目の指でぱっと死ぬやろ？」

真田孔明：

どれかに引っかかると

北の物販大富豪：

う～ん

藤村：

3本で、なんですか？

真田孔明：

警察と、薬事法と

北の物販大富豪：

薬事法と税務署っていうのは、それは薬に関係しとるやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

で、薬事法と許認可や、警察、そして税務署、で3つの指をつかむと

真田孔明：

絶対にどれかに引っかかる

北の物販大富豪：

必ず殺される、この3つが手を結んだら、三角形になるやろ？だからそれくらい三角形のゲームってのは怖いんだよと



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

こっちは、話わかんないから「あ～そう、あら～そう」全部さ

一同：

笑

北の物販大富豪：

やばい時はもう、本当、あら捨てて逃げるしかないやろ？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

危険な時は・・・歯向かって絶対殺される

藤村：

なんか日本に聞かせようかと・・・

真田孔明：

うんうん・・・真面目に日本に関して

一同：

笑

藤村：

海外だけではありません

真田孔明：

どうせもう、みんな誰が何を言ったからって、覚えてないですからね、話を・・・大多数の人は、一部の人は覚えてますけど、一部の人は

藤村：

見所伝えて活動しようか

真田孔明：

オリンピックに向けて？



藤村：

うん

北の物販大富豪：

いやだから、俺さっき言ってたやろ？今ブラジルの値段がいいのは、何でいいのかって言うたら、ブラジルにはオリンピックあるから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それから後は、オリンピックの手前・・・開催した時の1年前ぐらいものの凄くいいの

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

何を誘発しとるかと言うと・・・ある意味出てる、為替110円~115円程度やろ、凄く良くなった
なと思うやろ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

もっとつり上げる・・・為替を・・・

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

そしたら外人持ってきやすくなるやろ？

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

そないうちの金持ってったら、日本行ったら、とんでもない金くれるんだ！それくらい見せると、バカ共がパ～また寄って来る



真田孔明：

それをオリンピックに向けてやってるわけですね？

北の物販大富豪：

そう！金も・・・ 完全言うとする

一同：

笑

北の物販大富豪：

言葉（雷が落ちる）

真田孔明：

おお～これはでかいですね

北の物販大富豪：

原子爆弾か？

真田孔明：

マレーシアで？ 笑 言う事聞かないマレーシアで

一同：

爆笑

北の物販大富豪：

俺にしゃべるなど

一同：

笑

北の物販大富豪：

（雨がひどくなる）これはすごいぞ

真田孔明：

久しぶりですね

北の物販大富豪（妻）：

すごいね



藤村：

まともに外国人を日本に呼び込む活動しようかな？

真田孔明：

あの、ゴールデンブリッジみたいな感じで 笑

北の物販大富豪：

いやいやだからそれでさ、藤村さん、やってるんだったらダメ

藤村：

ダメですか？

北の物販大富豪：

共に動脈と静脈があるよ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

ちゅう循環やから、動脈の、ね、静脈とつなぐ、この吸い上げる時、金も一緒にできないか？
血を吸い上げる・・・そういうシステムを作りゃいい

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

前に作ったんやよ、これ・・・設計士が図面書くやろ、ね、あれはなぜか、完成したものの、細部まで、おんなじものしか絶対にできない

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だから設計士書いたら、工事業者がさ、「今のとこ3メートルあったんですけど、完成したら2メートルになった」っていうの作らんやろ

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

だから設計士の図面は最終的にも、建物の外観、全部同じ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

設計士が・・・茶色で、タイルの色を書けば茶色に従う

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ピンクでタイルを張ると・・・ピンクのが出来る

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

わかった？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから、いかにいい図面を書いたかに決まってるわけや

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

その中に、その応用と金融工学をみんな入れて、仕組みも原理も、全部こう、ぶちこんでさ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

お互いに、わ～って、当てられればいいんでないかい？言うとなのや



真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

下手の考え休むに似たり、言うけど、考えたってさ上手く行くわけがねえ、悪いね・・・またなんかでいいか

真田孔明：

笑

